

企業の経営に役立つ総合的な情報誌

# あきた 商工 Biz<sup>+</sup> plus

2026年3月発行

## Vol.613

秋田県商工会連合会報

奇数月1日発行

発行日/令和8年3月1日

(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

### 変革に挑戦

自然と向き合う湯温管理をデジタル化

一歩先のおもてなしへ

株式会社 妙乃湯  
(仙北市商工会)

乳頭温泉郷「妙乃湯」の露天風呂「妙見の湯」

先達川の渓流と滝を眺めながら  
自然と体になれる開放的な露天風呂

乳頭温泉郷「妙乃湯」と夏瀬温泉「都わすれ」を運営する株式会社妙乃湯。自慢の露天風呂と和モダンの雰囲気女性が中心に高い人気があります。

計24カ所の浴槽を運営・管理する両施設。温泉の湯温は、季節や天候の外気温の変化を受けやすく、これまではスタッフが定期的に巡回して状態を確認していましたが、変化を察知してから適温に戻すまでに時間を要してしまうことが課題でした。

この課題を解決するため、仙北市商工会の支援を受け「温泉温度測定システム」を導入。すべての温泉を1台のタブレットで見ることができ、これまで以上にスムーズかつ正確な湯温の維持が可能となりました。

長年の経験による湯守の職人技とデジタル管理で、お客様一人ひとりに寄り添った、心地よい湯をお届けし続けます。



妙乃湯公式ホームページ



湯温をタブレットで確認する湯守の神成さん



## 令和7年度21世紀商工会グランプリ 準グランプリ受賞

# 「羽後町プロジェクト」

## ～観光の再生なくして事業者の発展はない～

令和7年11月に「21世紀商工会グランプリ」で準グランプリを受賞した、羽後町商工会の地域経済活性化の取組を紹介します。

### 【21世紀商工会グランプリとは】

職員の資質向上、巡回訪問の推進、コミュニティ維持活動強化等において、顕著な事業実績をあげている商工会又は県連合会を顕彰することを目的に、全国商工会連合会が実施する表彰制度です。

### プロジェクトの背景

- ・羽後町は、「西馬音内盆踊り」や「西馬音内そば」をはじめとする魅力的な観光資源を有している。
- ・平成28年に中心市街地からやや離れた場所に開業した「道の駅うご」は、来場者数を伸ばしているものの、中心市街地への経済波及効果は限定的だった。

### 観光再生に向けて

商工会が中心となり、町役場、関係団体と連携し、個々の観光資源の磨き上げだけでなく、町全体で価値を創出することにチャレンジした。

具体的には、観光庁事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業※」を活用し、エリア一体の施設の整備に取り組んだ。加えて、商工会のプロモーションの取組を連動させて、相乗効果をねらった。

※地域計画に基づき実施される宿泊施設や観光施設等の改修、廃屋の撤去、地域全体でのDXなどを支援する観光庁の補助事業。

本事業の補助金額1.48億円(総事業費2.93億円)

#### 施設整備

#### 「旧柴与家」の活用

約180年の歴史を持つ旧柴与家の活用



完成イメージ

#### 古民家の改修

宿泊・観光施設7事業者が、バリアフリー化や町の景観に合わせた改修を実施



#### プロモーション

#### 情報発信

- ・デジタルガイドマップの作成
- ・青年部員・女性部員が「まち記者」となって町のお店をPR
- ・青年部員がイチオシ商品を選定し、道の駅でPRするためのPOP(商品宣伝)を作成

#### 観光モデルコース開発

- ・旅行者と国際教養大学の学生と連携した観光モデルコースの開発・研究
- ・観光モデルコースを道の駅で紹介するためのPR動画を制作・上映

#### 観光資源の磨き上げ

- ・商工業者と羽後中学校の生徒による商品の共同開発支援
- ・西馬音内盆踊りオリジナルグッズの開発支援
- ・西馬音内そば店で外国語メニュー表の作成支援

## 主な成果

# 「旧柴与家」は泊まれる文化交流施設「盆宿U」にリニューアル

旧柴与家は、内蔵を2つ備えた大きな商家ではあったが、老朽化が激しい状態にあった。そこで、本プロジェクトでは、文化財としての価値を残しながら宿泊・観光発信拠点としてリニューアル。お盆と西馬音内盆踊りをテーマにした「泊まれる文化交流施設」として、令和7年4月にオープンした。

### 「盆宿U」の設備

- ・ 宿泊ルーム
- ・ サウナ
- ・ パブリックラウンジ
- ・ カフェ&バー
- ・ DJブース
- ・ コミュニティスペース

### 開催したイベント

- ・ 見学ツアー
- ・ マルシェ
- ・ 試食会
- ・ アート作品の展示会
- ・ スタンプラリー



「盆宿U」の外観

### 羽後町プロジェクトの成果

令和6年度の観光客 前年対比 8%増  
(948,184人→1,027,698人)

うち西馬音内盆踊り 前年対比 66%増  
(62,000人→103,000人)

うち盆踊り会館 前年対比 9%増  
(4,192人→4,562人)



見学ツアーの様子



「盆宿U」正面入口



「盆宿U」館内サウナ入口



メゾネットルーム

## 新たな課題解決に向けて

## 地域共創モデルの進化を図る!

長年、中心市街地で町民の生活を支えてきたスーパーが閉店し、広大な空き地が生じた。中心市街地の賑わいを創出するため、次の活動を行っている。

- ① 商工会長直轄の諮問機関で議論、町長へ要望書を提出
- ② 秋田大学「地域連携型リサーチプロジェクト」の実施
  - ・ スーパー跡地の利活用に向けた提言
  - ・ 中心市街地活性化に向けた取組の提言
  - ・ 羽後町全体を捉えたまちづくりの提言
- ③ 「羽後町版ワークトレード※」による社会実験事業の実施
  - ・ 宿泊施設の稼働率向上
  - ・ 町内事業者の人手不足対策



地域連携型リサーチプロジェクト



「羽後町版ワークトレード」チラシ

※「羽後町版ワークトレード」とは  
そば店で働いて、宿泊費相当額を稼ぐことで、地域に滞在してもらう取組。

### 商工会の声

羽後町商工会 柴田 知之 会長

地域を取り巻く環境は刻々と変化しています。

「まずは何事もやってみる!」という気持ちが大事ではないでしょうか?

もし、上手くいかなくても失敗から学ぶことはありますし、そのスピリッツは必ず次につながります。

羽後町商工会は、これからも会員・住民の声に耳を傾けながら、地域に必要なアクションを常に考え、新たなことにチャレンジしていきます。



## 創業期の「経理の不安」に寄り添う 会計ソフト「商工会クラウド・MA1」

商工会では、創業期から事業者の「経理の不安」に寄り添い、経営のデジタル化を通じた業務効率化と経営改善を支援しています。今回はよこて市商工会の事例を紹介します。

### 会員事業所の取組事例

#### bébé hair works (ベベヘアワークス)

代表 泉 仁人さん 所在地 横手市十文字町西原一番町45

事業内容 美容室 営業時間 9:30～19:30(火～金)  
9:30～18:00(土日祝)

店名の由来 「bébé」はフランス語で「赤ちゃん」。  
「ゼロからスタートする」という意味が込められている。



店舗の外観

### きっかけ

#### これまでの悩み

- ・簿記未経験のため、他社会計ソフトを導入したものの、勘定科目等の初期設定や専門用語の解釈が困難だった。
- ・自身が会計ソフトに入力している内容が正しいのかも判断できなかった。
- ・会計ソフト提供会社にチャットで相談しても最終的に電話連絡を求められ、サポートセンターに連絡しても回線が混雑し、つながらなかった。

#### 決算申告のタイミングで商工会へ相談

「商工会クラウド・MA1」の説明を受け、現状の悩みが解決すると感じ、導入を決断

### 効果

- ・**業務改善**：他社会計ソフトでは、1時間半かかっていた作業が、30分に短縮された。不明点を商工会に相談することで、インターネットで調べて悩む時間が解消された。
- ・**経営改善**：モニタリングサービス<sup>\*</sup>による具体的な提案をいただいたことにより、取組むべき施策を検討できた。正しい数字で経営状況の良し悪しが判断できるようになった。
- ・**その他**：経営への関心が高まり、財務分析セミナーに参加するようになった。

<sup>\*</sup>「モニタリングサービス」は、商工会職員が会計ソフト「商工会クラウド・MA1」を活用し、財務データの分析結果と具体的な経営課題解決等をまとめ、定期的に提供するサービスです。



財務状況を見ながら藤倉経営支援員(右)から解説を受ける泉さんご夫婦

### 事業者の声 経理担当 泉 美希さん(事業主の配偶者)

「商工会クラウド・MA1」は簿記未経験でも使いやすく、不明点があればすぐに商工会へ確認でき、インターネットで元帳を共有できる点も魅力です。

また、会計の知識と財務状況を意識する習慣がつかえました。

顔の見える関係の中で事業内容を把握していただけるため、経営に関する適切なアドバイスを受けられることが、他の会計ソフトにはないメリットだと感じています。



### 商工会の声 よこて市商工会 藤倉 美穂 経営支援員

はじめのうちは一緒に設定作業から仕訳入力まで支援しました。

泉さんがよく使用する仕訳や取引内容を設定する事で、だんだん入力作業にも慣れていき、成長を感じることができました。

モニタリングサービスでは、あまりお金や時間をかけずに経営課題解決に活かせるような提案を意識しております。



# 県内企業のデジタル技術の活用状況

県内の中小企業・小規模事業者は、生産年齢人口の減少等により人手不足が深刻化していくことが予想されます。このような状況の中、デジタル技術の活用は生産性の向上や業務効率化に不可欠です。

このページでは、秋田県が実施した「令和6年度県内事業者のデジタル技術活用実態調査」の結果をご紹介します。

※下の図表は、県調査結果から引用加工

## 活用状況

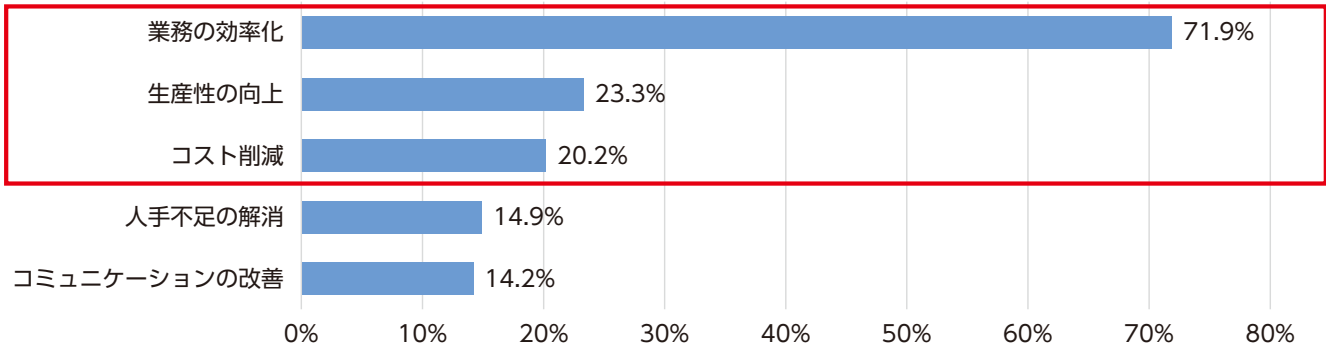
- ・ネットワークは、インターネット（無線）の割合が高い。
- ・汎用ソフトは、officeツールと電子メールの活用が80%を超えている。
- ・業務ソフトでは、会計管理システムの活用は、70%を超えている。
- ・一方で、IoTやAI等の先端技術の活用は低い水準にとどまっている。

表1 活用しているデジタル技術 (n=592)

区分	項目	割合
ネット ワーク	社内LAN	41.4%
	インターネット(有線)	56.8%
	インターネット(無線)	78.9%
汎用 ソフト	officeツール(Word,Excel等)	83.1%
	電子メール	82.9%
	WEB会議ツール	43.1%
業務 ソフト	会計管理システム	72.6%
	販売管理システム	33.4%
	ホームページ	53.9%
	IoT	3.0%
	AI	1.5%
	生成AI	3.5%

## 効果

図1 デジタル技術の導入や運用による効果 上位5項目 (n=570)



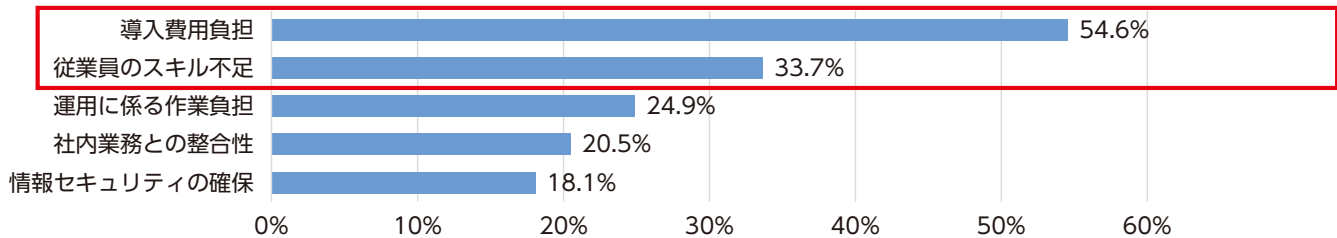
- ・「業務の効率化」(71.9%)が最も高く、次いで「生産性の向上」(23.3%)、「コスト削減」(20.2%)の順である。
- ・「業務の効率化」の事例
  - ・グループウェア<sup>\*</sup>とタブレットの導入により外出時でも社内情報にアクセス可能となり、業務効率が上がった。

(保険業)

※組織内でスケジュール管理やデータ共有等を行えるソフトウェア

## 課題

図2 デジタル技術の導入や運用における問題点 上位5項目 (n=570)



- ・「導入費用負担」(54.6%)が最も高く、次いで「従業員のスキル不足」(33.7%)である。

## 商工会は、あなたの経営のデジタル化を全力でサポートします！

### ➔ 充実した補助金申請支援

経営のデジタル化に必要な費用をサポートするための補助金を提案、申請支援します。

### ➔ 専門家派遣による個別指導

専門家が、あなたの経営のデジタル化を直接サポートします。



商工会と一緒に、デジタル技術を活用して事業の未来を切り拓きましょう！



詳しくは、次のページをご覧ください。

## 商工会では、デジタル化に対する補助金の申請を支援します！

※補助金額・補助率は、要件や類型等により異なります。  
また、補助金の情報は、令和8年1月末時点のものです。内容は、変更になる場合がありますのでご了承ください。

人手不足対策に取り組みたい方	新規事業へ挑戦したい方	販路を拡大したい方
<p>■取組の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セルフオーダーシステムと配膳ロボットの導入(飲食店)</li> <li>自動ラベル貼付機の導入(製造業)</li> <li>鉄筋組立作業ロボットの導入(建設業)</li> </ul> <p>■対象補助金</p> <p>【デジタル化・AI導入補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金額 ~450万円</li> <li>補助率 1/2以内・2/3以内</li> </ul> <p>【中小企業省力化投資補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金額 カタログ注文型 ~1500万円 一般型 ~1億円</li> <li>補助率 カタログ注文型 1/2以下 一般型 1/2・2/3</li> </ul>	<p>■取組の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メーカーとバイヤーのマッチングサイトを構築(卸売業)</li> <li>食品製造工程の自動化と工場併設の食堂・直売所の開店(製造業)</li> </ul> <p>■対象補助金</p> <p>【ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金額 ~4000万円</li> <li>補助率 1/2~</li> </ul> 	<p>■取組の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新商品の展示会への出品と、顧客・請求管理システムの導入(小売業)</li> <li>ECサイト開設と経理ソフトの導入(製造業)</li> </ul> <p>■対象補助金</p> <p>【小規模事業者持続化補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金額 ~250万円</li> <li>補助率 2/3~</li> </ul> 

### 「商工会クラウド・MA1」の活用が業務効率化への第一歩



商工会がオススメする  
商工会員のための会計システム

30日間無料で  
お試しが可能です！

※過去に「商工会クラウド・MA1」を利用していない方に限ります。

# 「商工会クラウド・MA1」

なら、誰でも簡単に記帳業務効率化が可能



誰でも迷わずに  
簡単に始められます



税制改正があっても  
安心してご利用  
いただけます



簿記  
会計や簿記に  
詳しくなくても簡単です



銀行やカードの取引  
データを自動で仕訳  
するからお手軽です

広告

商工会員だけの大きな特典  
商工会が提案する4つの安心サポート

## 商工貯蓄共済

経営指導  
経営のトータルサポート

生命保障  
万が一に備えた  
リスク管理サポート

資金繰り  
企業の資金繰り  
サポート

貯蓄  
資産の充実  
サポート

どちらも月々  
2,000円  
から

あなたも家族もまるごと守る！  
頼れる補償の商工会の福祉共済

## 全国商工会会員福祉共済

「なが」の  
補償

「病気」の  
補償

「がん」の  
補償



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)  
購読料／1部10円(会費に含む)